

学校でマスク着用が不要な主な場面



体育の授業 子供同士の間隔を確保。屋内では呼吸が激しくなる運動は避け、こまめに換気



運動部活動 近距離で組み合ったり接触したりする運動は、各競技団体の指針を踏まえる

夏の登下校 会話を控えるよう指導。公共交通機関を利用する場合はマスク着用も

熱中症のリスクが高まる夏を前に文部科学省は24日、学校の体育授業で屋内外ともマスク着用は必要ないことを全国の教育委員会などに周知することを決めた。

政府は、新型コロナウイルス対策の基本的対処方針などでマスク着用の考え方を示している。文科省は、学校でのマスクの取り扱いを現場に広く知ってもらうため、改めて全国の教委に伝える。

文部科学省

体育の授業では、運動場やプール、体育館など屋内外にかかわらず、マスクを不要とした。登下校時は、子供に会話を控えるよう指導した上で、マスクを外すように積極的に声をかける。また、休み時間の密にならない外遊びも不要とした。

運動部活動も基本的にマスクは不要とした。ただ、近距離で組み合ったり、接触したりする場合は、各競技団体のガイドラインなどを踏まえて対応することとした。

